

# なんたん

No. **41**

**農業委員会だより**

令和 2 年 2 月号



農業委員会のうごき	2~3
まちかど通信	4~5
地域農業を支える	6
なるほど! 知っ得メモ その2	7
なんたんあっちこっち 他	8

令和2年1月15日

八木西小学校の行事として、とんどが行われました。

「元気に過ごせますように」「字がきれいになりますように」など、児童それぞれが願いをこめました。

HPリニューアルにより  
URLが変更になりました

発行 南丹市農業委員会 編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

■電話 0771-68-0067 ■E-mail [co-nougyo@city.nantan.lg.jp](mailto:co-nougyo@city.nantan.lg.jp)

■FAX 0771-63-0654 ■URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/index.html>



# 農業委員会のうごき

## 石川県で農地利用最適化の取り組みを視察



▲研修のようす

は実施途中ではありますが、10年以上にわたる活動により、たどり着かれたものでご苦労が垣間見える内容でした。

ほ場整備事業を創設し、農業で地域を支えるための営農活動も始められました。

りの話し合いをされました。ほ場整備事業を行うにあたり、集落ごとに地権者とその家族への説明会を開催し、鉦打地区内の各集落の現状を地図に貼り付け、現況の近い集落を工区分けしました。

平成27年1月には農業組合法人なたちを創設

### 1日目 中島町鉦打地区 農地集積の 取り組み

七尾市中島町鉦打地区では、少子高齢化の進行により将来の農業継続や地域の活力低下に危機感を持たれ、平成20年から25年に「鉦打ふるさとづくり協議会」において、鉦打米のブランド化や農地の集積による収入及び雇用の確保など、地域のビジョンづく

### 2日目 奥能登原木しいたけ 活性化協議会産地 ブランド化の取り組み

輪島市では、過疎化や高齢化により生産者が減少していたしいたけ産地の再生を目指し、平成22年10月に県や市町、JA、生産者などにより奥能登原木しいたけ活性化協議会が設立されました。協議会では、①原木幹旋と新規栽培農家の掘り起こし、②技術指導（研修会、巡回指導）、③共選事業の実施、④消費宣伝活動、⑤里山保全活動の啓発と地域との連

携・後継者育成の取り組みが行われました。中でも共選の規格で傘8cm以上、肉厚3cm以上、巻き込み1cm以上のものを特秀品として「のとまり」というブランドで平成23年に商標登録、初競りで6枚15,500円という破格の値が付いたということ。また、消費宣伝活動として、地元の祭りや金沢市の市場でPR活動、金沢市の有名店で創作料理を提供、地元高校との連携で啓発を行っており、さらにはブランド化・共選による品質の安定などによって販路を広げています。平成22年に4名だった生産者数が平成30年には108名にまで増えています。この地域で成功を収めた要因には、取り組み内容を徹底して行ったことに加え、コナラの原木が多くあり、風通しがよく昼間気温が上がってもすぐに下がる地形など、しいたけ栽培に適した土地だったこともあるようです。

(文書：田村好司 委員)



▲日本きのこセンターの平野参与から説明を受けました



## 研修会にて市農業委員会の取り組みを発表

より、野生鳥獣の実態や被害防除対策について講演があり、その後本市農業委員会の大沢泰一会長から「有害鳥獣対策に関する意見書提出の取り組み」について事例報告を行いました。南丹市内の有害鳥獣の被害状況や、サル等の被害の対策として、サルの群れが集落に近づいてきた場合、登録者にメール配信されるシステムについての説明に加え、市農業委員会の農政部会内で、鳥獣害対策グループを設置して、課題解決に向けて協議していることを発表しました。

(文書：平野清久 委員)



12月25日にガレリアかめおかで「野生鳥獣の被害を防ぐ研修会」が開催されました。野生鳥獣対策連携センターの上田剛平氏

## 農地等最適化推進施策の改善に関する意見書を提出



▲左から西村市長、大沢会長、野村職務代理、上田農政部会長

10月21日に、「令和元年度農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」を市長に提出しました。

①「有害鳥獣対策について」  
②「スマート農業の普及推進について」といった、農地等の利用の最適化を効率的かつ効果的に実施するために必要な施策の改善などを意見としてまとめました。

市農業委員会として地元農家の悩みに寄り添い、農地を地域で守る営農組織などとも協議を重ね、担い手の発掘や育成に取り組むなど、地域の状況に応じた活動を積極的に取り組んでいきたいと考えています。

なお、11月7日に南丹市より回答がありました。



■意見書の全文ならびに回答はHPで公開しています。

URL: [http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/003/000/index\\_45354.html](http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/gove/145/003/000/index_45354.html)

## 農業者年金へ加入しませんか



★農業者年金は、国民年金（基礎年金）に上乗せした任意加入の公的年金制度です

- ①積立方式（確定拠出型）で少子高齢化時代に強い年金です！
- ②生活設計や経営状況に合わせて（2万円～6万7千円まで千円単位で）保険料設定が可能です。
- ③20～39歳の方には保険料の3～5割の補助制度があります。（※別途要件あり）

加入資格

国民年金  
第1号被保険者  
(免除者は除く)

農作業日数  
年間60日以上

60歳未満の方

申込・お問合せ／南丹市農業委員会事務局 電話0771-68-0067

地元で活躍されている方や農業に関する取り組み、  
また、日々の生活に密着したまち情報をお伝えします！



苦労されたことは、作付け計画通りにいかないことや、収量の予測をすること、失敗したときの対応に苦戦したことだ  
そうです。

これからの展望をお聞きすると、「現在2棟のビニールハウスでキュウリや春菊、ナスビの露地栽培など野菜を栽培・出荷しているが、2棟のビニールハウスを増設し、トラクターなど機械を充実させ、多くの方に喜んでいただける安全で新鮮な野菜作りを目指している。」と、熱い思いを込めて話していただきました。

(取材：田中靖二委員)

### 新規就農しました!

たなかしのぶ  
**田中 忍さん**

(園部町南八田)

田中忍さんは昨年12月に南丹市での「担い手養成実践農場」で2年間の研修を終え、今年から本格的に農業をスタートされました。園部町出身で非農家に生まれ、大学では経営学部と、農業とは縁がありませんでしたが、大学を卒業して社会人の頃、京都市内で開かれたマルシェ（市場）で新鮮な野菜に出会い、「自分もこんな野菜を育てたい」と思い、また、安全で新鮮な野菜の栽培に魅力を感じ、農業への道を選びました。

### 農産物販売所

きつとみむら

# 吉富村

(八木町室河原)

(取材：福嶋重樹委員)

里山市として13年目になりますが、これまでのつながりを大切に、生産者の方や来場客が増えるよう努力し、今後とも出来る限り活動を続けていきたいとメンバー一同願っております。是非とも、お気軽にお立ち寄りください。



吉富村(きつとみむら)はJR吉富駅近くの国道9号線沿いにある手作り市で、地域の農産物・加工品を主に販売しています。平成19年4月に、地域を活性化しようという思いから、月に一度の開催より始まりました。現在は火曜日を除く常設の里山市として続いており、特に第2日曜日は「イベント吉富村」として賑わい、第1・3日曜日は嵐山へ出張販売も行っています。平成19年8月に府地域力再生事業の補助も認められ、加工所が池ノ内に完成し、加工品販売が可能となり、地域内外の大きなイベントにも参加できるようになりました。また、参加者のつながりをきっかけに約15名からなる、しょうごの栽培グループ「しょうごプロジェクト八木」も発足しました。



吉富村のみなさん



## ドローンを用いて スマート農業 UNIXIA(ユニシア)

(日吉町佐々江)



代表の久野光平さん

久野さんは、元々農業以外の仕事をされていたが、数年前から日吉地域でされている黒大豆、水稻栽培に新機材のドローンを駆使したスマート農業を取り入れられないかと考え、高校時代からの友人である小林さんとUNIXIA(ユニシア)を立ち上げました。

ドローンについては皆様既にご存知かと思いますが、リモコンで操作し、複数のプロペラで飛ぶ機械です。

具体的には、水田の除草剤やカメムシ防除剤、黒大豆の殺虫剤、九条ネギなどの追肥などを、上空から散布します。

動噴に比べ作業時間の短縮や、従来の無人ヘリコプターと違い低空を飛び、小回りが効くため小さな農地でも作業が可能であり、集団農地内の一部だけを散布したり、農地毎に薬剤を変えることもできます。また、ドローンにカメラを取り付けて上空から撮影・点検もできます。

農家の減少、高齢化が進む中、効率よく作業できる「スマート農業」は地域の担い手として大きな期待がかかります。ユニシアでは現在、作業相談を受け付けています。ご興味のある方は一度連絡してみたいでしょうか。

(取材：井上雅晶 委員)

UNIXIA(ユニシア)  
☎0771-73-0200



ドローンで散布しています



受付：ショップ21  
☎0771-77-0002



食工房いろどりのみなさん

## 地域に根ざして 食工房いろどり

(美山町中)

食工房いろどりは、かやぶきの里からほど近い美山町中にある「ショップ21」の隣の工房で調理活動をされています。

高齢化が進む中、食事作りも十分できなく誰か料理をしてくれる人があれば助かるとの話があり、高齢者の見守りを兼ねて、平成24年から弁当の宅配を始めました。

現在、近所の仲良し4名で活動されており、食材は、地産地消の精神で地元の商店から調達し、お米は地元産のキヌヒカリを使用しています。

活動してきて良かった事は、高齢者の方が弁当が届くのをお心待ちにしている様子を伺うと仕事の疲れがとれると話されています。このメンバーが配達を行いますので冬場の積雪が多い時は、車の運転が心細いとのことでした。

メンバー一同、年を重ねてきましたが、喜んでいただいているお客様がいる限りは続けたいとのことでした。弁当の他、法事などの鉢物料理も提供ができますので気軽ににご相談ください。

(取材：倉内裕 委員)

# 地域農業を支える

あの人この団体!

地域農業の発展を目指し、力強く活動する  
団体・個人を紹介します。

## 株式会社 TAGAYAS

(園部町南大谷)



▲株式会社TAGAYASのみなさん

代表のこにしんや小西真也さんは幼少期から農業と身近な環境の中で育ち、10年程前から認定農業者として本格的に就農され、昨年法人化されました。経営は水稻栽培を主とし、それに関わる育苗から収穫・販売まで全て行っています。また苗の販売や田植え、稲刈りの作業を請け負い、地元農家さんの身近な存在として取り組まれ、そうした中で耕作放棄地をなくすことを目標に、ほ場の整備等も行っています。

苦労したことや良かったことについては、農業は自然相手で、災害や獣害等による品質低下や収量の減収など苦労は数えきれないほどありますが、SNSでのアピールにより、より多くの方に地域の特色等を知っていただく機会が増え、インターネット販売でも売れるようになったことが非常に大きいと話されていました。

「今をたがやし未来をはぐくむ」をスローガンに、近年、米価の低下と共に耕作放棄地が

増加傾向にある中で、自然に恵まれたこの地域を守っていくという使命感を持ち、若手を中心になってアイデアを出しながら、ワクワクする事業展開でモチベーションを高め、日々の農作業に取り組んでおられます。

最後に抱負を尋ねると、これからも地元はもとより、南丹市内の農業者の方々との連携や意見交換、消費者の声を聞くことに加え、生産者の取り組みや産地情報を伝えていくことも大切な役割だと感じているということをお聞きしました。

「株式会社TAGAYAS（たがやす）」が地域の農業を支える担い手として活躍されることをご期待しています。

(取材：寺尾義延 委員・東野裕和 委員)

# 全国農業新聞

を購読しませんか。

農業経営と暮らしに役立つ週刊の農業総合専門誌です。  
農業者の視点で、さまざまな情報をお届けします。

- 週刊 月4回金曜日発行
- 月額700円 (税込)

申込：南丹市農業委員会事務局 電話0771-68-0067



なるほど!  
知っ得メモ

No  
2

## 利用権設定について



### 利用権設定ってなに？

農地を貸したいという方と農業経営規模の拡大を図りたいという担い手農家との間で、安心して農地の貸し借りができる手続きです。もちろん、これから農地を借りて農業を新たに始めるという方も申請できます。手続きが比較的簡単で、農地法の許可は不要です。(市街化区域外の農地が対象)

### 利用権設定によるメリット

契約期間が終了すれば、離作料を支払うことなく、自動的に地主に農地が返ってきます。

※契約更新の有無については、契約期間が終了する約2ヵ月前に案内をします。



申請書提出の締切日は毎月20日(休日の場合はその前日)で、翌月の5日前後に開催されます。農業委員会で審議され、承認されます。申請書は農業委員会事務局の窓口にあります。また、南丹市役所のホームページからもダウンロードできます。

#### 【お知らせ】

従来、利用権設定申出書に地区担当農業委員の署名捺印を頂いておりましたが、令和2年2月21日受付分から、「地区担当農業委員または農地利用最適化推進委員」のどちらか1名から署名・捺印をいただくことになりました。

委員名簿は、南丹市役所のホームページや、農業委員会だより36号・40号に掲載しています。

## 委員活動の紹介

10月17日に、園部第二小学校の1年生40名が、5月20日に苗を植え大きく成長したサツマイモの収穫を行いました。前日にイモヅルを取り除き、茎の出ているサツマイモを傷つけないように少しずつ掘っていき、大きな歓声を上げながらイモ掘りを楽しみました。収穫後、子どもたちは温かいふかしイモを口いっぱいにはうばり、ホクホクとした甘みのあるサツマイモの美味しさに満足した様子でした。

(取材：平野清久 委員)



美山小学校の2年生と遊休農地の活用と食育をかねて、サツマイモを育てました。6月13日に、イモヅルを植え、10月15日に収穫しました。例年よりも小さく、数も少ないように思いましたが、子どもたちは大喜び。自分で選んだおイモを5本ずつ「重い、重い」と言いながら持って帰りました。今度は、いっしょに調理もしてみたいと思います。

(取材：谷本みどり 委員)

# なんたん あっちこっち

とにかく広い南丹市。  
南丹市のあちらこちらでは、その地域ならではの面白く、  
楽しい、また興味深い取り組みがされています。  
そんな南丹市の、**あっちこっち**のできごとを紹介します。



▲皮を剥くのも一苦労！？  
真剣な表情で調理しています

▶イカと里芋の煮つけ  
おいしくできあがり  
ました



(取材：倉内裕 委員)

料理の得意な宮島在住の男性が講師になり、  
簡単レシピを伝授していただきました。土鍋で  
ジャガイモと卵を茹でたポテトサラダ、イカと  
里芋の煮付け、大根の鯖煮の3品を作り、料理  
完成後は皆さんで試食を行いました。出来栄え  
の感想を語り合い、思いの外美味しいとの評価  
となりました。レシピを変えて次回も行うこと  
になりそうです。



## 男の料理教室

(美山町島)

12月8日に、美山町宮島振興会主催の「男の料理教室」が美山小学校のランチルームで開催されました。宮島振興会では、「住んで良かったと思える地区づくり」を目指しています。独身男性には簡単に料理を作れることを知っていただき、家庭持ちの男性には家族に料理を披露することで喜ばれるきっかけになればとの主旨です。

## 委員ぶらり旅

旅人：吉見有正 委員



JA高山共選所



訪れようと  
思っています。  
を楽しみに  
来年もまた同じ頃にリンゴを買うこと  
をしました。

長野旅行  
毎年10月下旬になると、長野県高山村たかやまにある奥山田温泉と、JA高山共選所へリンゴを買いに訪れています。ここでリンゴを買うようになったきっかけは、6年前に奥山田温泉へ宿泊した帰り道に、とても賑わっている販売所が目に入り、立ち寄ったのがきっかけです。その時に買った「シナノスイート」というリンゴが大変美味しく気に入ってしまい、それ以来毎年、リンゴを求めてJA高山共選所に行くようになりました。  
午後からは観光を兼ねて、日本百名城の一つである長野市にある松代城まつしろじょうに行きました。

## 編集後記

このたび、南丹市農業委員会よりは、第29回京都府農業委員会広報コンクールに於いて銀賞を受賞しました。取材にご協力をいただいた方々にお礼を申し上げますとともに、これからも皆様からのご意見や情報提供をよろしくお願いします。(広報委員一同)

**地域の食と農業の情報紙『なんたん』**  
自慢の農作物・地域の積極的な取り組み・地元野菜の食べられるお店など、すてきな情報をお待ちしております。  
農業委員会事務局 電話：0771-68-0067

- |       |      |      |      |     |     |            |
|-------|------|------|------|-----|-----|------------|
| 藤谷 倉梅 | 谷岩 宇 | 松福 廣 | 吉寺 田 | 東 田 | 平 野 | ◆<br>広報委員会 |
| 原本 内津 | 谷口 城 | 松本 嶋 | 見尾 中 | 野 村 | 野 村 |            |
| みど    | 義 定  | 吉重 芳 | 有義 靖 | 裕 好 | 清 司 |            |
| 忠司    | 裕明   | 弘樹 仁 | 正 延  | 二 和 | 久 司 |            |

